

IEEE MILESTONE (7)

▪ Railroad Ticket Examining System, 1965 – 1971

鉄道用自動改札システム

関西支部

通勤客の便利向上を図る先駆的な鉄道自動改札装置が、大阪大学と近鉄の共同研究により 1965 年に登場した。引き続いて、オムロン、近鉄、阪急の共同開発によるパンチカードと磁気カードを用いた改良型が 1967 年に実用化され、1971 年には 19 の駅に据え付けられた。

Citation (銘板に鑄込まれた碑文)

Pioneering ticket examining machines, designed to speed commuter railroad use substantially, were first installed in 1965, based on work by a joint research team of Osaka University and Kintetsu Corporation. Following this work, an improved version -- based on joint work by Omron, Kintetsu, and Hankyu Corporations using punched cards and magnetic cards -- was first deployed in 1967, and at nineteen stations in 1971.



1967 年 3 月阪急北千里駅にて営業運用を開始した世界最初の自動改札システム。
(阪急電鉄㈱提供)

左から IEEE Dr. Richard Gowen,
オムロン作田社長、大阪大学西尾副学長、
近鉄小林社長、阪急角社長



受賞の経過

- 1) Proposal Form 提出：2005 年 11 月 6 日、Nomination Form 提出：2006 年 5 月 29 日
- 2) 2007 年 4 月 22 日、IEEE Executive Committee により最終承認される。
- 3) 2007 年 11 月 27 日、シェラトン都ホテル大阪にて贈呈式および記念パーティーが行われた。
- 4) 引き続き、大阪市内中央電気倶楽部にて受賞記念講演会が行われた。